

衛生だより

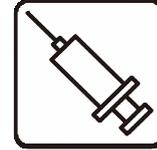
奈井江町
奈井江町衛生協力会
平成29年 6月15日

◆^{きょうけんびょう}狂犬病予防注射について

毎年4月～6月は、「狂犬病予防注射月間」です。

飼い犬については、狂犬病予防法により①市町村に犬の登録をすること。②毎年狂犬病予防注射を受けさせること。③鑑札と注射済票を付けること。が義務付けられています。【法律には罰則があり違反すると、なんと20万円以下の罰金！】

それでは、「狂犬病」について、みなさんと一緒に学んでいきたいと思えます。



人にも感染するの？

■「狂犬病」は、すべてのほ乳類に感染することが知られており、もちろん人も例外ではありません。人も動物も発症するとほぼ100%死亡【恐ろしいですね】

しますが、人では感染後（感染動物に咬まれたあと）にワクチンを連続して接種することにより発症を防ぐことができます。

人にはどのように感染するの？

■主に「狂犬病」に感染した動物に咬まれ、唾液中に排出されるウイルスが傷口から体内に侵入することにより感染

します。主な感染源動物は犬やネコですが、中でも、犬が人に対する感染動物になります。また、現在日本は、「狂犬病」の発生のない国となっていますが、海外ではほとんどの国で感染する可能性のある病気です。

「狂犬病」に感染した犬の症状は？

■^{きょうそう}狂騒型と^{まひ}麻痺型と言われるタイプ

があり、狂騒型では極度に興奮し、

^{こうげきてき}攻撃的な行動を示します。また、麻

痺型では後半身から前半身に麻痺がひろがり、食べ物や水が飲み込めなくなります。

「狂犬病」に感染した人の症状は？

■強い不安感、一時的な^{さくらん}錯乱、水を見

ると首（^{けいぶ}頸部）の筋肉がけいれんす

る（^{きょうすいしょう}恐水症）、冷たい風でも同様にけいれんする（^{きょうふうしょう}恐風症）、高熱、麻痺、^{うんどう}運動

しつちょう

失調、全身けいれんが起こります。その後呼吸障害等の症状を示し、死亡します。

感染してから発症までの期間は？

■「狂犬病」は感染してから発症するまでの期間（潜伏期）が一般に1ヶ月から3ヶ月、長い場合には感染し

てから1年から2年後に発症した事例もあります。なお、発症前に感染の有無を診断することが出来ません。

人から人へ感染する？

■通常、「狂犬病」が人から人に感染することはありません。

これまでに臓器移植による感染が認められていますが、非常にまれな事例といえます。

また、輸血により感染したという報告はありません。

過去には日本で発生していた？

■日本国内では、人は昭和31年（西暦1956年）を最後に発生はありません。また、動物では昭和32年（1957年）のネコでの発生を最後に発生がありません。

ですが、輸入感染事例として狂犬病流行国で犬に咬まれ帰国後に発症した事例が、昭和45年（1970年）にネパールからの帰国者で1例、平成18年（2006年）にフィリピンからの帰国者で2例ありました。

※このように「狂犬病」はとても怖い病気ですが、日本国内にいる場合においては感染する可能性は低いといえますね。でも、海外旅行などで他の国に行くことがある方は十分に気を付けてください。海外で犬や野生動物に咬まれたら、まず傷口を石けんと水でよく洗い流し、できるだけ早く医療機関を受診してください。

また、7月3日（月）に「狂犬病予防集合同注射（第2次）」を実施いたしますので予防注射を済ませていない方は、ぜひご利用ください。

（役場 まちなみ課管財環境係）

